

がくどうほいくふなばし

No. 3 市連協だより

2002. 8. 29 (金) 発行

船橋市学童保育連絡協議会

(住所) 船橋市南本町31-5

(Tel/Fax) 047-433-9266

(ホームページ) homepage2.nifty.com/fghrk/

市連協 福祉局長と懇談

～ ルームの混雑解消対策や親子行事の開催などで意見交換～

8月22日午前9時から市連協役員と福祉局長との懇談が行われました。これは市連協が、7月に再度懇談を申し入れ、実現したもので、市連協から5名が参加。市から山越福祉局長と植草児童家庭課長が出席されました。

(以下懇談の概要)

市連協 今年度定員オーバーが約10ルームあるが、来年度はさらに増える心配がある。局長はどう考えているのか。

局長 保護者が働くケースが増えているため、児童数が減ることはないだろう。ルームが公設公営になり、預けたいという人もいて、どのくらい増えるか不確定な要素となっている。

市連協 市が公設前に実施したアンケートでも、条件がそろえば利用したいが、4000人あった。実績を見ても年々数百人増えているのだから、今後数百人単位で定員をオーバーする可能性がある。どういう見込みをもっているのか。

課長 現在児童家庭課で調査中です。

局長 ハード面とルームの機能の維持をどうするのか。予算に制限がある中で見通しが持てない。

市連協 定員の120%以上入れるのか。基準を示してほしい。

局長 子どもは必ずしも部屋にいるとは限らない。120%自体いいか疑問だ。

市連協 暫定措置としても青天井は問題だ。ルームごとに状況が違うので、来年度に向けて話し合いを継続してほしい。

市連協 父母とルームとの協力関係はルームの運営にとっても必要不可欠。入所・卒所や親子で参加するルームの行事をやってほしい。

課長 保護者との交流なら、保護者会や連絡帳ですむことだ。

市連協 地域の中での子育てのネットワークが必要だ。前に指導員から、「親子で遊ぼう」という行事を起案したら、決裁が下りなかった。そういうこともだめなのか。父母会のないところは連絡網もない。親の思いを受け止めて、ぜひ検討してほしい。

(最後に今後も話し合いを続けていくことを確認し懇談を終わりました。)





高根台第一・高根台第三の父母 地域の夏祭りで模擬店を出店

7月20日、21日、高根台団地の夏祭り（盆踊り）が行われ、今年も高根台第一・第三の父母が、生ビールなどの模擬店を出店。2日間で両ルームの半数にあたる30家族が参加しました。ここでの売上は、流しそうめん（今年は9月1日）など親子で楽しむ行事の資金になります。

参加者からは、「ビールもいっぱい飲めたし、親同士のつながりが深まって、今年も楽しかった。」「毎年参加者が増えている。これからも続けていきたい。がくどうまつりにもみんなを誘って参加したい」などの感想を寄せてくれました。

<各父母会の夏休みの行事は次回のニュースで紹介します。>

ほのぼの保育報告

今年はいやに多く「光化学スモッグ」が発生していますね。

先日注意報が発令され、その後解除されたかと喜んだら、なんと警報でした。警報は28年ぶりの発令だそうです。

一つ部屋に大勢の子どもたちがひしめきあい、今か今かと待ちわびる「注意報の解除」。このアナウンスが流れるやいなや外に飛び出す子どもたち。

その日も「光化学スモッグ」注意報があり室内で過ごしていました。「まだかなあ」「ぼく、に

～匂いならまかせて～

おいならわかるよ。だいじょうぶかどうか嗅いでみるよ」2年生の男の子が窓を少し開けクンクンしています。

「どうだあ？」と心配そうに他の子が聞きます。すると、「まだくさいよ」自信たっぷりに窓を閉めて応える　くん。

注意報が解除されたのは、それからしばらくしてからでした。「　くんって、匂い博士だね」指導員が言うと、「ふいふい」と笑う　くんでした。

<7月投稿分>

入所不許可問題などで活発な議論に

～ 6月に2002年度市連協総会を開催～

6月30日中央公民館で、船橋市学童保育連絡協議会の2002年度総会が開催され、父母・指導員など38人が参加しました。11人から発言があり、経過報告、方針・予算案などが承認されました。なお、議案は市連協のホームページに掲載されています。



入所不許可問題で市連協には親身に運動を広がっていただいた。

今まで、父母会はなかった。2月末に不許可の連絡がきて、どうしようかと父母が集まった。市連協から今までの経過を聞き、みんな声をあげなければと思った。地元の市議員にも相談に行き、福祉局長とも懇談した。しゃかりきに動いて1～3年生の待機児童はなくせたが、地域の需要に基づいた定員の設定ではないので、引き続き市連協とともに施設拡充の運動をしていきたい。「保護者会設立総会」の開催も予定されている。

< 八栄小父母 >

< 総会の発言から(抜粋) 1 >

移転について進展はない。近所との関係もうまくいっていないと指導員の具合も悪くなる。子どもは外で遊べない、親のお迎えはくるまでいられないなど、市には言っても上の方まで伝わっていないようだ。大家さんと市の言い分も違っている。学校の先生もルームの場所がよくわかっていない。8月には行田からの大きな道路が開通し、今まであった信号がなくなってしまい、たいへん心配だ。

< 法典西小父母 >

待機児童問題は、来年度に向けての対策を考えるように課に要望した。

労働条件については、指導員が長く働きつづけられない現状がこの事業にとってどうなのかを訴えていきたい。

組合主催の月1回の学習交流会は1年目からずっとやってきている。

市主催の研修は、昨年5回あったが今後も要望していきたい。障害児の研修は今入所しているルームのみ対象だったが、全ルームを対象に求めていく。

今後も保護者と一緒になにか必要なものか、声をあげていきたい。< 指導員組合 >

全国学童保育研究集会

10月19日(土)～20日(日)

京都市

参加してみませんか

全国から、数千人が参加します。32の分科会・講座があり、学童保育のことが学習交流できます。千葉県内参加者との交流会もあります。

市の後援が決定！！ がくどうまつり



とき 9月29日(日)

11時～15時

ところ 天沼公園

日本一のけんだま名人 荒井安太郎さんの妙技も見られます。
手作りおもちゃで有名な木村研さんのコーナーもあります。

みなさん、お子さんといっしょに
参加しましょう！

当日のコーナー の係員を募集中

各コーナーの運営を担当します。各父母会から出して下さい！



今後の日程

9月20日(金) 定例会

内容 - 秋の運動について

がくどうまつりの最終打ち合わせ、など

10月25日(金) 定例会

遊びのコーナー

たのしくあそぼうコーナー
わなげ ・ ポーリング
ストラックアウト ・ ベーゴマ
けんだま ・ やっとこ

つくって遊ぼうコーナー
びゅんびゅんごま ・ 紙飛行機
牛乳のふた鉄砲 ・ ビーズ
ペンシルバルーン ・ 工作

全体企画

じゃんけん列車

今年も“巨大気球 打ち上げ”

がくどうまつりのチラシはルームを
通じて配布されます。

